





具体的には、北海道河西郡芽室町に建設中の新チーズ工場を柱としたチーズ事業の強化育成、高齢社会のニーズに対応した流動食事業の拡大などに積極的に取り組む所存であります。

また、コーポレートブランドである「」ブランド徹底強化および「明治おいしい牛乳」や「明治ブルガリア」といった全社戦略ブランドの価値向上を図るためのコミュニケーション活動を積極的に展開いたします。

次に、徹底したコスト削減を図るべく、少数精鋭体制による経営効率の向上、グループ全体での間接部門の合

## 当期純利益

単体 連結

(百万円)

_____
_____
_____
_____
_____
_____

第125期 第126期 第127期

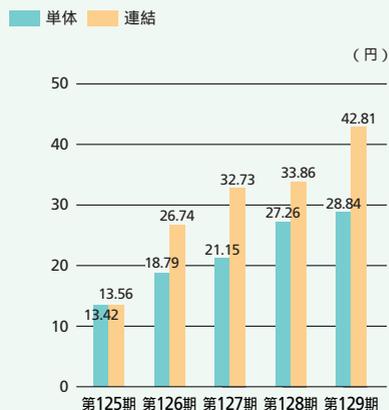
(円)

500	_____
400	_____
300	_____
200	_____
100	_____
0	_____

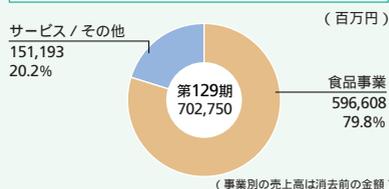
第125期 第126期 第127期

## 事業別の概況(連結)

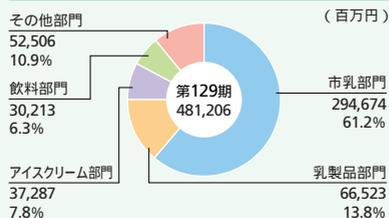
### 1株当たり当期純利益



### 事業別売上高(連結)



### 部門別売上高(単体)



### 食品事業

当事業には、牛乳、乳製品、アイスクリーム他食品の製造・販売が含まれます。

売上高は、ヨーグルトなどの売上増があったものの、牛乳類等の売上が前期実績を下回ったことなどにより、前期比1.5%減の5,966億8百万円となりました。営業利益につきましては、海外原料や包装材料のコストアップがあったものの、ヨーグルトなどの売上増に伴うプロダクトミックス改善効果に加え、経費全般の見直し効果などにより、前期比21.6%増の200億2千2百万円となりました。

### サービス/その他事業

当事業には、飼料事業、物流事業、その他事業が含まれます。

売上高は、物流事業や飼料事業の売上が前期実績を上回ったことなどにより、前期比1.3%増の1,511億9千3百万円となりました。営業利益につきましては、飼料事業において原料穀物のコストアップがあったことなどにより、前期比1.6%減の34億6千万円となりました。

## 部門別の概況(単体)

### 市乳部門

牛乳類は前期実績を  
LB81、「明治プロビ  
に推移したことなど  
2,946億7千4百万円





## 冷凍食品



### 彩り野菜のピッツァ

グリーンアスパラ・完熟トマト・ごぼうの3種類の野菜と、スイートコーンをトッピングして、黒こしょうをきかせたマヨネーズ風ソースとチーズで味付けした、おいしく手軽に野菜が摂れるピッツァです。



### ごまだれ ごぼうれんこんカツ

食感の良いごぼうとれんこん、キャベツ、ニンジンと国産の鶏ムネ肉と合わせ、さくっと揚げたカツを香ばしい焙煎ごまだれで味付けしました。

### 3種若鶏から揚げ

丸大豆醤油で味付けをした「から揚げ」、香り豊かな青のりをまぶした「磯辺揚げ」、生姜醤油のきいた「竜田揚げ」と味わいの違う3種類の若鶏から揚げを1パックにした便利でおいしいお弁当の定番です。

## コナミルク・乳幼児用食品

### 明治ミルフィーHPスティックパック

「明治ミルフィーHP」は、ミルクアレルギーの赤ちゃんのための風味の良い粉ミルクです。従来の大缶に加えてスティックパックのアイテムを新発売しました。アレルギー用ミルクのスティックパックは他社にはなく当社だけのアイテムです。



### 明治ベビーフード 赤ちゃん村 レトルト

そのまま召し上がれる手軽なレトルトタイプのベビーフード「赤ちゃん村 レトルト」に、「白身魚としらすのおかゆ」と「豆腐と野菜とひき肉のあんかけ」がセットになった「和風ランチセット」、白身魚としらすのおかゆ」と「ツナクリームスパゲティ」がセットになった「おかゆ・スパゲティセット」、鮭と野菜の煮込みうどん」と「とり雑炊」がセットになった「うどん・雑炊セット」の3種類のアイテムが加わりました。

## 栄養食品

## 連結財務諸表

### 連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当 期 平成1年3月31日現在	前 期 平成18年3月31日現在
（資産の部）		
流動資産	155,780	136,458
固定資産	227,779	224,675
資産合計	383,560	361,134
（負債の部）		
流動負債	182,255	167,346
固定負債	55,260	78,817
負債合計	237,515	246,164
少数株主持分		2,273
（資本の部）		
資本金		23,090
資本剰余金		21,434
利益剰余金		58,505
その他有価証券評価差額金		10,059
自己株式		394
資本合計		112,695
負債、少数株主持分及び資本合計		361,134
（純資産の部）		
株主資本	135,481	
資本金	33,646	
資本剰余金	31,3	
利益剰余金	70,407	
自己株式	566	
評価・換算差額等	8,272	
その他有価証券評価差額金	8,272	
少数株主持分	2,291	
純資産合計	146,044	
負債及び純資産合計	383,560	

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

科 目	
売上高	
売上原価	
売上総利益	
販売費及び一般管理費	
営業利益	
営業外収益	
営業外費用	
経常利益	
特別利益	
特別損失	
税金等調整前当期純利益	
法人税、住民税及び事業税	
法人税等調整額	
少数株主利益	
当期純利益	

連結株主資本等変動計算書 当期（平成18年4月1日から平成19年3月31日まで）

（単位：百万円）

	株主資本					評価・換算差額等	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金		
平成18年3月31日残高	23,090	21,434	58,505	394	102,636	10,059	2,273	114,969
当期変動額								
新株の発行	10,556	10,556			21,112			21,112
役員賞与（注）1.			35		35			35
剰余金の配当（注）1.			1,183		1,183			1,183
剰余金の配当			86		86			86
当期純利益			13,708		13,708			13,708
持分法適用会社の増加に伴う増加			424		424			424
連結子会社株式の売却に伴う減少			26		26			26
自己株式の取得				176	176			176
自己株式の処分		2		4	6			6
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						1,787	17	1,76
当期変動額合計	10,556	10,558	11,902	172	32,844	1,787	17	31,075
平成19年3月31日残高	33,646	31,993	70,407	566	135,481	8,272	2,291	146,044

（注）1. 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

2. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当 期	前 期
	平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで	平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	37,123	31,256
投資活動によるキャッシュ・フロー	15,447	17,919
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,433	13,490
現金及び現金同等物の増加（減少）額	10,242	153
現金及び現金同等物の期首残高	3,621	3,774
現金及び現金同等物の期末残高	13,863	3,621

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

「連結貸借対照表」および「単体貸借対照表」

平成18年5月1日施行の会社法により、「資本の部」が廃止され、「純資産の部」が新設されました。

これは貸借対照表上、資産性を持つものを「資産の部」、負債性を持つものを「負債の部」に記載し、それらに該当しないものを資産と負債の差額として「純資産の部」に記載するものです。

これにより、会社の支払能力などの財政状態をより適切に表示することが可能となります。

「連結株主資本等変動計算書」

平成18年5月1日施行の会社法により、「連結株主資本等変動計算書」が新設されました。

これは貸借対照表の純資産の部の中で、主として株主の皆様へ帰属する株主資本について、その1会計期間における変動事由と変動額を、連結ベースでご報告するために作成する計算書類です。

## 単体財務諸表

### 貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当 期	前 期
	平成18年3月31日現在	平成18年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	138,197	103,711
固定資産	183,940	178,842
資産合計	322,137	282,554
(負債の部)		
流動負債	153,242	122,514
固定負債	42,726	60,192
負債合計	195,969	182,706
(資本の部)		
資本金		23,090
資本剰余金		21,434
利益剰余金		46,398
その他有価証券評価差額金		9,318
自己株式		△ 394
資本合計		99,847
負債及び資本合計		282,554
(純資産の部)		
株主資本	118,507	
資本剰余金	33,646	
利益剰余金	31, 3	
自己株式	53,434	
評価・換算差額等	△ 566	
その他有価証券評価差額金	7,660	
純資産合計	126,168	
負債及び純資産合計	322,137	

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当 期	前 期
	平成18年4月1日から平成18年3月31日まで	平成17年4月1日から平成18年3月31日まで
売上高	481,206	484,285
売上原価	338,037	344,458
売上総利益	143,168	139,827
販売費及び一般管理費	124,897	124,588
営業利益	18,271	15,239
営業外収益	2,968	2,862
営業外費用	2,865	2,399
経常利益	18,373	15,702
特別利益	4,185	5,279
特別損失	6,034	7,380
税引前当期純利益	16,524	13,600
法人税、住民税及び事業税	4,728	4,004
法人税等調整額	2,560	1,500
当期純利益	9,235	8,096
前期繰越利益		3,159
中間配当額		887
当期末処分利益		10,368

（注）1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 期間中における剰余金の変動は、平成18年5月1日施行の会社法により新設された「株主資本等変動計算書」で説明されるため、損益計算書末尾の「未処分利益」の計算区分は廃止されました。

### 株主資本等変動計算書（要旨） 当期（平成18年4月1日から平成18年3月31日まで）

（単位：百万円）

	株 主 資 本					評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計		
平成18年3月31日残高	23,090	21,434	46,398	△ 394	90,529	9,318	99,847
当期変動額							
新株の発行	10,556	10,556			21,112		21,112
役員賞与(注)1.			△ 30		△ 30		△ 30
剰余金の配当(注)1.			△ 1,183		△ 1,183		△ 1,183
剰余金の配当			△ 86		△ 86		△ 986
当期純利益			,235		,235		9,235
自己株式の取得				△ 176	△ 176		△ 176
自己株式の処分				4	6		6
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）		2				△ 1,658	△ 1,658
当期変動額合計	10,556	10,558	7,036	△ 172	27,978	△ 1,658	26,320
平成19年3月31日残高	33,646	31,993	53,434	△ 566	118,507	7,660	126,168

（注）1. 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

2. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

3. 平成18年5月1日施行の会社法により、「利益処分計算書」が廃止され、「(単体)株主資本等変動計算書」が新設されました。

これは貸借対照表の純資産の部の中で、主として株主の皆様へ帰属する株主資本について、その1会計期間における変動事由と変動額を、単体ベースでご報告するために作成する計算書類です。

### 全社的品質保証システム「明治クオリアス」を制定しました

平成18年12月、当社は「明治クオリアス」を制定し、公表しました。「明治クオリアス」とは、MEIJI Quality Assurance Systemの略称で当社独自の全社的な品質保証システムです。商品開発から生産、物流、販売、お客様コミュニケーションに至る全ての工程で行う品質保証活動を明文化し、全社員が実践することで、「お客様の満足と信頼を得る」ことを目的としています。また、「明治クオリアス」の制定に際しては、従来部門毎に策定していた品質保証に対する取り組みや考え方、基準、規則を一貫したものに改め、体系化しました。

当システムは、制定により完了するのではなく、その後の活動によりさらに高い品質を目指すものであり、平成19年度は、「明治クオリアス」の浸透を図ると同時に、標準・基準類の整備を行いながら、運用を開始し、平成21年度には、明治乳業グループ全体で運用できるように展開を図っていきます。

#### ・明治乳業品質憲章

明治乳業は、お客様の満足と信頼が得られる品質を追求し、全社全部門を挙げた品質保証体制のもと、安全で魅力的な商品とサービスを提供する。

「明治クオリアス」の取組方針は次の通りです。

#### ・取組方針

- ①「お客様に約束する品質」を明確にする。
- ②「お客様に約束する品質」を実現するために、商品開発から生産、販売、お客様コミュニケーションに至る全ての工程において、どのような品質保証活動を行うのかを明文化する。
- ③全ての工程において、従業員が「お客様に約束する品質」の実現のために必要なことを考え、行動する。
- ④各工程での品質保証活動が、この品質保証システムに基づき正しく行われているか、機能しているかをPlan Do Check Actionのマネジメントサイクルで、継続的に確認・検証する。

「明治クオリアス」の構成要素

MEIJI品質



## 株式数

発行可能株式総数 560,000,000株  
発行済株式の総数 329,648,786株  
(前期末比3,300万株増)

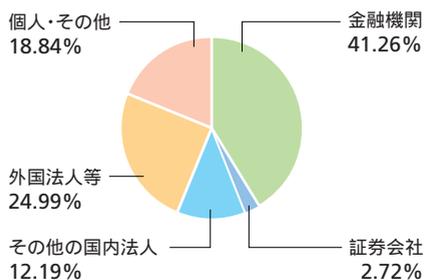
## 株主数

株主数 29,546名  
(前期末比4,700名減)

## 大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資状況 持株数(出資比率)	
	千株	%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,566	5.5
株式会社みずほ銀行	14,581	4.43
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	12,251	3.73
明治製菓株式会社	12,211	3.72
株式会社りそな銀行	11,000	3.35
日本生命保険相互会社	10,013	3.05
農林中央金庫	8,085	2.46
住友信託銀行株式会社	6,85	2.13
明治乳業共栄会	5,221	1.5
株式会社損害保険ジャパン	4,610	1.40

## 株式分布状況



## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

同総会権利行使  
株主確定日 毎年3月31日

期末配当金受領  
株主確定日 毎年3月31日

中間配当金受領  
株主確定日 毎年9月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

連絡先 〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
☎0120-232-711(フリーダイヤル)

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

公告の方法 電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。  
公告掲載アドレス <http://www.meinyu.co.jp/>

## お知らせ

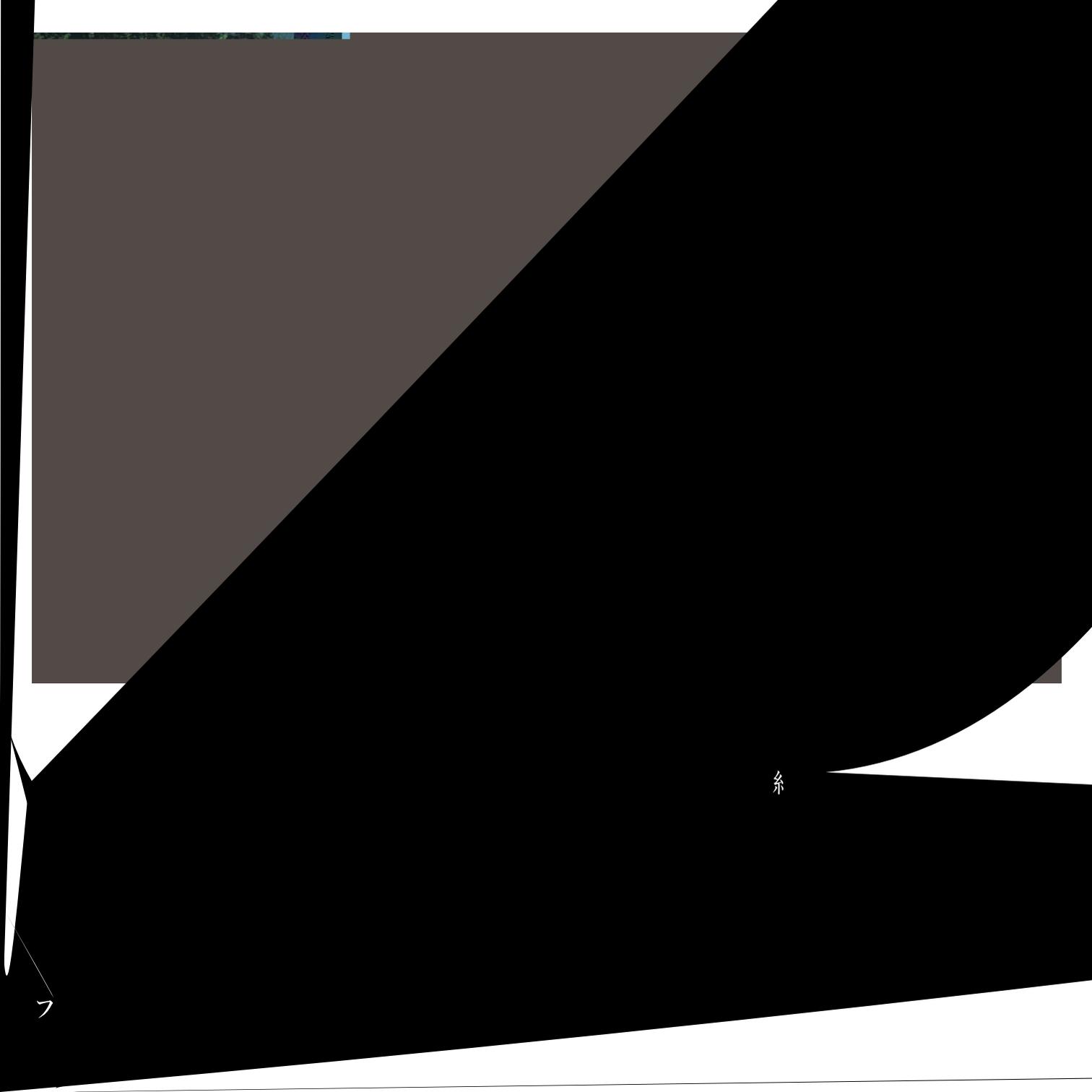
第129回定時株主総会の決議内容につきましては、当社ホームページに記載しておりますのでご参照願います。ホームページアドレスは次の通りです。<http://www.meinyu.co.jp>

住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取・買増請求に必要な各用紙、および株式の相続手続依頼書のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル

☎0120-244-479

で24時間承っておりますので、ご利用ください。

この報告書は環境への配慮のため、古紙パルプ配合率100%再生紙と大豆油インキを使用しています。



糸

フ